

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立二名小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒631-0072
奈良市二名一丁目 3716-1

E-mail nimyou-e@naracity.ed.jp

Website http://www.naracity.ed.jp/nimyou-e/

幼児児童生徒数 男子 205名 女子 222名 合計 427名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「みがけよ心、きたえよ体、学び伸びゆく二名っ子」を学校理念として、ESD を人権教育の精神を基盤とする学びの場と捉え、ESD の実践を通して人間性豊かな児童の育成と互いに支え合い高め合う集団づくりを目標とした。

具体的には、文化遺産、平和、国際理解を柱に、①国際理解に係わる活動、②環境に係わる学習、③平和に係わる学習、④異文化理解に係わる学習を行った。

① 国際理解に係わる活動

本校では、児童運営委員会が中心となって、ペットボトルのキャップを回収する『エコ・ボランティア』活動が行われている。「UNICEF」と連携し、各家庭でいらなくなったペットボトルのキャップがリサイクル資源として、業者に売られ、そのお金でワクチンが製造されて支援国へ届けられるという活動を通して、世界にはワクチンを必要とする支援国があることを知った上で、自分たちには何ができるかという進んで参加する態度を育てている。

② 環境に係わる教育

本校の3年生は、奈良市環境政策課の事業で、3年生を対象として開かれる「ECO キッズ! ならの子ども」環境講座を学んだ。地球温暖化や省エネなどの環境に関する学習を通して、子供たちが節電等、自分自身でできる地球温暖化対策を考え、実践する態度を養うことがねらいである。また、学校や家庭で生活するうえで、エコライフに対する関心を高めることが目標である。

③ 平和に係わる学習

本校の6年生は、毎年修学旅行で、広島に行っている。事前学習として、「平和とは何か」「戦時中の広島でどんな出来事が起こったのか」「原子爆弾がもたらした被害」など、事前に児童が興味を持ったテーマについて調べ学習を行う。広島では、原爆の子の像の前で、6年生全員で「平和を誓う宣言」を行う。また現地で被爆者の方の体験を聞くことで、平和の大切さ、命の尊さについて考える。学習のまとめとして、6月の参観日に調べたことをもとに発表を行う。

④ 異文化理解に係わる学習

本校の外国語教育では、フィリピン出身の ALT (Assistant Language Teacher) がフィリピンの有名な行事や食べ物、文化について写真を見せながら紹介する機会があった。児童たちは、日本とは違う文化に触れることで、色々な価値観や多様性を身につけることができた。また、ネイティブな発音を聞くことで、日頃の学習以上に、発音を意識して取り組む児童がいた。



①エコ・ボランティア活動の写真



② エコキッズの写真



③被爆者の方の体験を聞いている写真



④ALT による授業の様子

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教科としては、ユネスコスクールの活動として、年間活動計画に位置づけられている。教科以外では、特別活動として委員会の時間や児童の休み時間を使って活動をしている。指導内容は、事前に教師で打ち合わせをし、単元の終わりには振り返りを行う。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間活動計画を作成し、そのカリキュラムを基に担当する教師が中心となって取り組んでいる。また、年間活動計画とは別に、教師の専門性や独創性を活かした授業や取り組みを展開している。地域の方に協力をしていただく場合には、事前に打ち合わせをして、細かいポイントを確認しておく。活動が終わったら検証し、ねらいは適切だったか、児童につけたい力をつけることができたかを振り返る。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

それぞれの教科や活動ごとに、児童の振り返りをもとに教師が考察し、意欲的に取り組めたか、単元の目標を達成できたかを評価する。学校教育に関わってくださった外部の方とも振り返りを行い、成果と課題を浮き彫りにして次年度につなげている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

小学校のホームページで、授業内容や活動について紹介している。ホームページで発信することにより、保護者の方にも知ってもらったり、理解してもらったりしている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本校の3年生は、奈良市の文化を知るために「おん祭」について社会の時間に学習する。おん祭について、実際に祭りに携わっている春日大社の方をお招きし、春日若宮の神様の話を聞いたり、おん祭で行われる取り組みについて学んだりする。その他にも、昔から二名校区に住んでおられる地域の方をお呼びし、私たちが住んでいる町について学ぶ。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現時点では、他のユネスコスクールとの交流や、ネットワーク形成はありません。しかし、学校教育に幅を持たせるという意味では、他の学校と取り組みや成果を共有したり、新しいものを生み出したりするという交流はあってもよいと思われます。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校は、CS（コミュニティ・スクール）として地域の方と連携を取りながら教育を進めている。時には、地域の方を講師としてお招きし、地域の歴史についてお話をさせていただいたり、地域の行事や体験活動に児童が進んで参加したりするなど、学校と家庭と地域が一体となって教育を推し進めている。ユネスコスクールとしても、さらにグローバルな視点に立って、特色ある教育を進めて生きたい。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

年間活動

- ・ あいさつ運動・エコ・ボランティア活動 ・ 赤十字募金 ・ UNICEF 義援金（児童運営委員会）
- ・ 文化遺産学習 ・ 環境教育（3年生）
- ・ 水についての学習 ・ 車イス体験 ・ アイマスク体験（4年生）
- ・ 森林教育 ・ キャリア教育 ・ 世界遺産学習（5年生）
- ・ 地域教育 ・ 平和学習 ・ インターネット教育 ・ 世界遺産学習
- ・ 租税教室（6年生）
- ・ 異文化理解（各学年外国語活動）など